

8月20日

テーマ：「地の塩、世の光」

聖書箇所：マタイの福音書5章16節

◆今日のみことば

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。マタイの福音書5章16節

◆メッセージ

イエスさまは、私たちのことをこの世界にある「お塩」、「光」と言われました。

お塩は人間が生きていくためには、なくてはならないものです。ゆでたまごの白味にお塩をつけないで食べると、味がわからず、もの足りなさを感じます。お塩が塩からなくなったら、もうお塩とはいえません。

イエスさまを信じて救われている人は、お友だちがほかの人のものち物を盗んだり、ほかの人をいじめたりしていたら、そのお友だちの仲間になってはいけません。それだけではなく、あなたは、お塩のように塩味がきいたあゆみをしているのでしょうか。お友だちが悪いことをしていても、それに流されないで正しいことをすることができるのでしょうか。あなただけが正しいことをするのはとても勇気があることです。お友だちから悪く思われたり、いじめられたりしないだろうかとしんぱいになります。でも勇気をしぼり出して、正しい道をえらびましょう。神さまは勇気も力も与えてくださいます。そうすれば、あなたは平安と喜びにみたまされるにちがいありません。神さまがよろこぶことをしたのですから、神さまはあなたをほめてくださいます。



光も、人間が生きていくためにはなくてはならないものです。光がなければ暗やみで、見ることはできません。暗やみをこのみ、かくれて罪を犯すのではなく、世界の光としてかがやきましょう。あなたが神さまに喜ばれることをすすんでするなら、神さまはよろこんでくださいます。お友だちにやさしくしてあげましょう。いじめられていたら、助けてあげましょう。ひとりぼっちでいたら、仲良くしましょう。

あなたが神さまに喜ばれることをしているとき、あなたの行いを見ている人々が、「天におられるあなたがたのおとうさんはすばらしい」といって、神さまをほめたたえるようにしたいものですね。

◆お祈り

「お友だちが悪いことをしていても、正しいことができるように、力をお与えください。」

(横浜白山道教会牧師 松下信)

